

## トピックス 1. 式年遷宮に先人たちの森林整備の成果

- 平成25(2013)年の伊勢神宮の「式年遷宮」では、社殿等を新造するための木材を、木曾地域の国有林等に加え、約700年ぶりに隣接する「宮域林」から供給。80年生の間伐材を内宮の垣根等に使用。
- 宮域林は過度の伐採により荒廃していたが、大正時代に「神宮森林経営計画」を作成し、200年生のヒノキ材の生産を目標に植栽、保育等の森林整備を実施。水源涵養や風致増進を図りつつ、ヒノキを主林木とする針広混交林に育成。
- 森林は国土保全や水源涵養に加え、木材供給や風致増進を通じ、伝統文化の維持・継承にも大きな役割。こうした森林整備には世代を超えた長い取組が必要。



内宮正殿



宮域林の様子

## トピックス 2. 富士山が世界文化遺産に登録

- 平成25(2013)年6月、「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」が世界文化遺産に。森林は、その構成資産面積(約2万ha)の9割を占め、「富士山」の神聖性・芸術性を作り出す自然や景観において不可欠の構成要素。
- 静岡県側の森林のほとんどは国有林で、原生的な森林は原則として自然の推移に委ねるとともに、人工林は景観に配慮した森林整備を実施。山梨県側の森林のほとんどは県有林で、標高が高い森林を中心に針広混交林に誘導するなど、公益的機能を重視した森づくりを推進。
- 多くの登山者の来訪(近年は夏期の2ヶ月間で30万人)やニホンジカによる食害もあり、これら課題への対応を含め「富士山」の森林の保全管理を推進する必要。



本栖湖からの富士山



富士山山麓の林木遺伝資源保存林(国有林)

### トピックス 3. 林業活性化に向けて女性の取組が拡大

- 最近、学生や様々な職業の女性をメンバーとする「林業女子会」が各地で結成（平成25（2013）年末現在で9都府県）。林業体験、森づくり活動、イベント開催など様々な活動に取り組みながら林業の魅力を発信。また、女性狩猟者の組織設立等の動きも。
- 林業を職業とする女性に加え、若い世代を中心に一般の女性の間にも森林・林業への関心が高まり。森林・林業とそれ以外の世界をつなぐ取組を行っている点でも注目。
- 様々な女性の力を活用することが、新たな成長産業としての林業の再生に向けて必要。

設立年	組 織
平成5年	都道府県の女性林業技術職員による「豊かな森林づくりのためのレディースネットワーク21」設立
平成9年	女性の森林所有者・林業従事者等による「全国林業研究グループ女性会議」設立
平成22年	「林業女子会@京都」設立（以降、静岡、岐阜、東京、栃木、愛媛、石川、長崎、兵庫の各都県で設立）
平成24年	北海道の女性狩猟者による「TWIN(The Women in Nature)」設立
平成25年	本州・四国・九州の女性狩猟者による「 <small>えにし か こまち</small> 縁鹿小町」設立

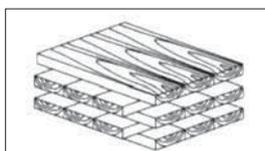
主な女性組織の一覧



林業体験活動  
（ヒノキの樹皮を剥いている様子）

### トピックス 4. 中高層木造建築への道をひらく新技術が登場

- 戦後に植栽した人工林が収穫期を迎えており、木を「育てる」時代から「使う」時代に。木材は健康で快適な環境を提供する資材であり、地球環境にも優しい素材。
- 平成25（2013）年には、中高層建築にも利用できる新たな建築用資材としてCLT（直交集成板）が注目。我が国でも主要な部分にCLTを使用した初の建築物が着工（同10月）。農林水産省では「直交集成板」の日本農林規格（JAS）を制定（同12月）するとともに、CLTの基準強度の制定に向けたデータ収集を実施。
- 「農林水産業・地域の活力創造プラン」（平成25（2013）年12月）では「新たな木材需要の創出」の取組として明記。豊かな森林資源と新たな技術を活用し、国産材による「都市の木質化」への道をひらくことが期待。



CLTと使用例（英国ロンドン）



我が国でCLTを使用して建築中の3階建て社員寮